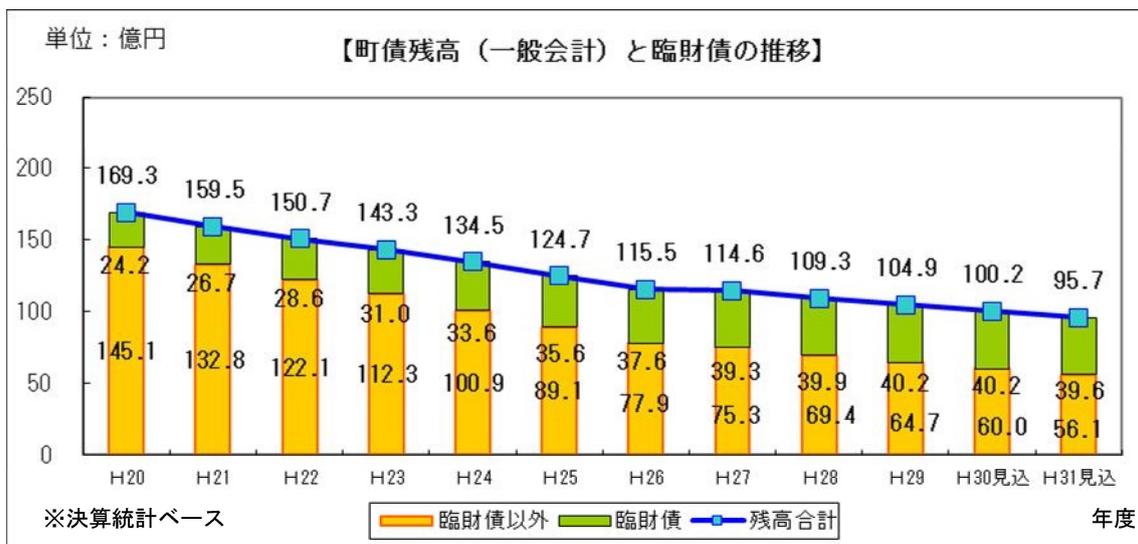
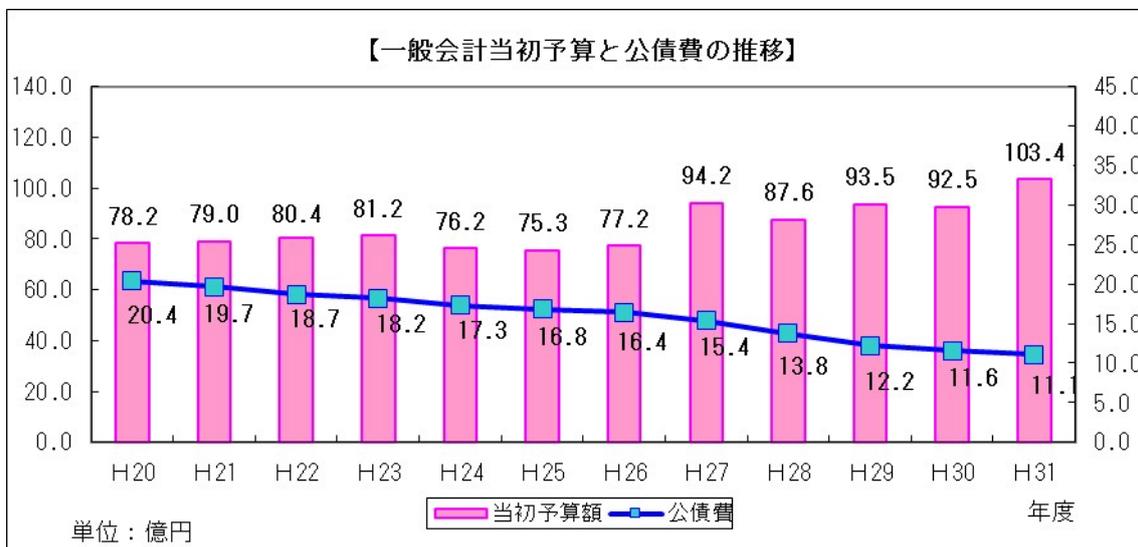
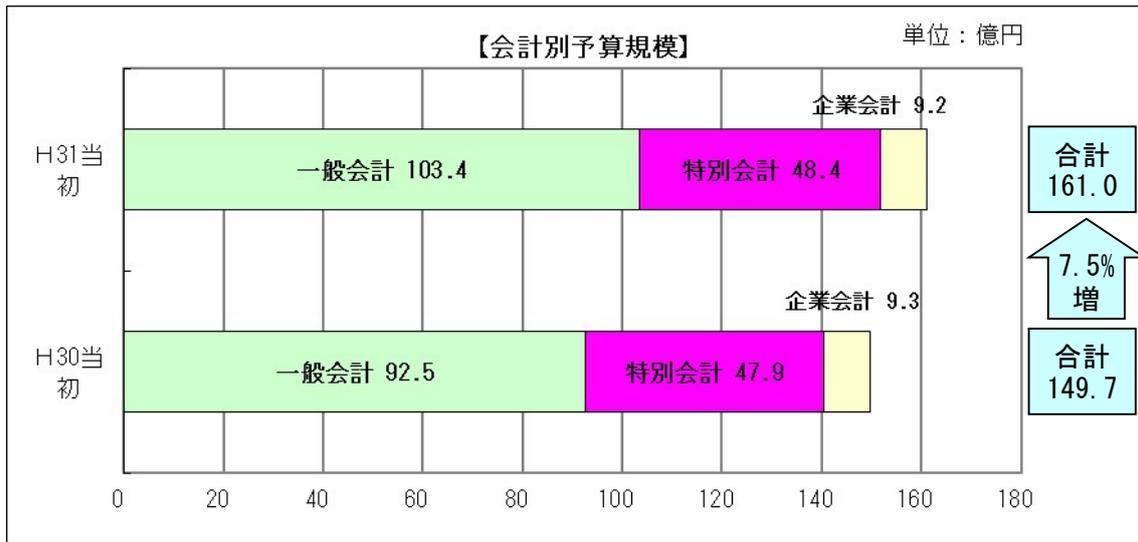
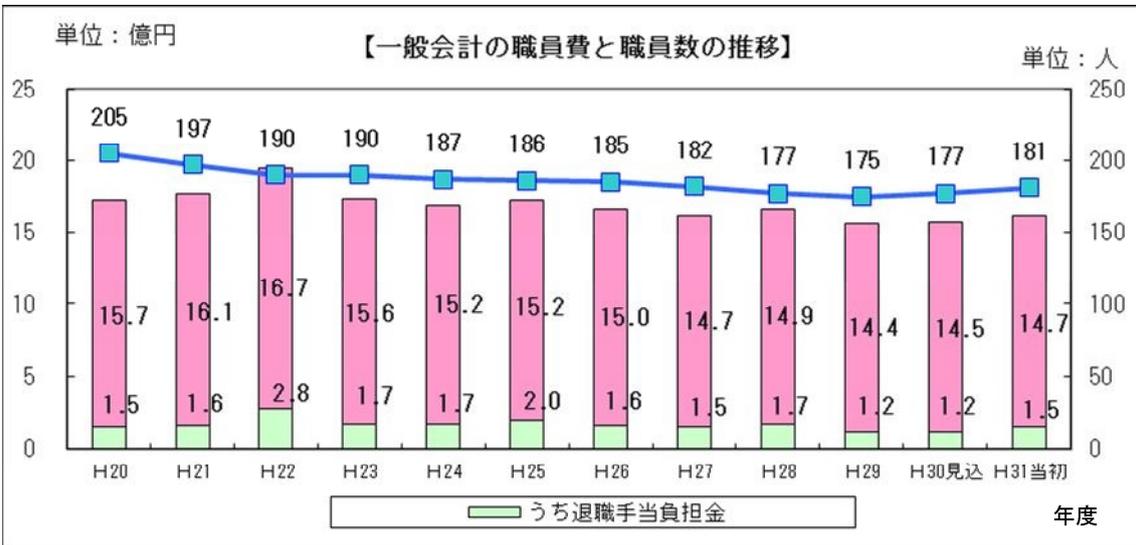
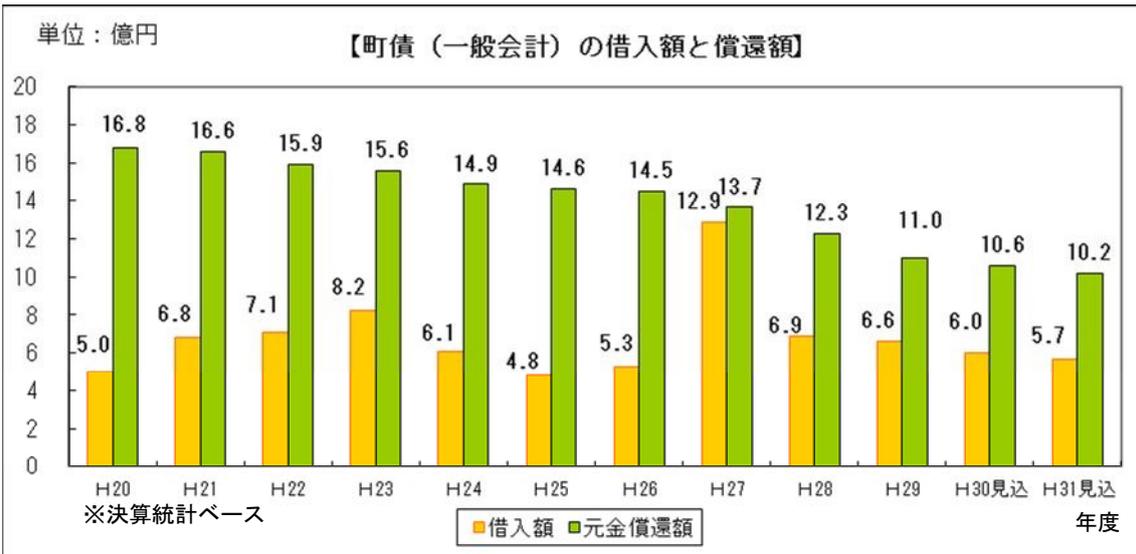


平成 31 年度
当初予算の概要（資料編）

当別町企画部財政課

■ 平成 31 年度 一般会計当初予算の全体像





性質別経費の状況（一般会計）

（単位：千円・％）

性質別名称	平成31年度		平成30年度		比較	
	総額	構成比	総額	構成比	増減額	増減率
消費的経費 (A)	7,626,395	73.8	7,082,037	76.6	544,358	7.7
義務的経費	3,603,729	34.9	3,719,352	40.2	▲ 115,623	▲ 3.1
人件費	1,691,432	16.4	1,653,812	17.9	37,620	2.3
扶助費	807,036	7.8	902,879	9.8	▲ 95,843	▲ 10.6
公債費	1,105,261	10.7	1,162,661	12.5	▲ 57,400	▲ 4.9
その他	4,022,666	38.9	3,362,685	36.4	659,981	19.6
物件費	1,218,703	11.8	1,078,202	11.7	140,501	13.0
維持補修費	495,185	4.8	463,928	5.0	31,257	6.7
補助費等	2,308,778	22.3	1,820,555	19.7	488,223	26.8
その他経費 (B)	2,078,669	20.1	1,556,263	16.8	522,406	33.6
積立金	980,564	9.5	500,276	5.4	480,288	96.0
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰出金	1,098,105	10.6	1,055,987	11.4	42,118	4.0
貸付金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
投資的経費 (C)	630,143	6.1	605,751	6.5	24,392	4.0
普通建設事業費	630,143	6.1	605,751	6.5	24,392	4.0
補助事業	209,315	2.0	267,562	2.8	▲ 58,247	▲ 21.8
単独事業	401,442	3.9	321,775	3.5	79,667	24.8
道営事業	9,500	0.1	8,490	0.1	1,010	11.9
受託事業	9,886	0.1	7,924	0.1	1,962	24.8
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
予備費 (D)	5,000	0.0	5,000	0.1	0	0.0
合計 (A)+(B)+(C)+(D)	10,340,207	100.0	9,249,051	100.0	1,091,156	11.8

平成 31 年度 当初予算における主な事業【部署別】

※（ 千円）は、前年度当初予算額

【 総 務 課 】

○防災資機材等備蓄事業（継続）

事業費： 8,500 千円（ 3,129 千円）

災害の発生を想定し、応急対応としての食糧及び生活用品等の支給が行えるようにするほか、冬季の災害に備えるため、発電機、ストーブ、毛布等の必要物資を備蓄する。

【 企 画 課 】

○当別町総合計画策定業務（新規）

事業費： 529 千円（ 0 千円）

第5次総合計画が概ね10年の計画期間を経過したことに伴い、当別町の政策の基本的な方向を総合的に示すため、当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策を十分に踏まえた新たな総合計画の策定を行う。

○当別町コミュニティバス運行事業（継続）

事業費： 25,489 千円（ 24,852 千円）

「当別町コミュニティバス(当別ふれあいバス)」の運行主体である当別町地域公共交通活性化協議会に対し負担金を支出し、官民共同によるコミュニティバスの運行を継続する。

○当別町・新篠津村特別区連携プロジェクト事業（継続）

事業費： 2,000 千円（ 2,000 千円）

石狩管内の町村である当別町・新篠津村とが連携して、地域の知名度向上のため、東京都中野区において特産品の販売などの事業を実施することにより首都圏における町のPRを行うとともに、交流人口の増加や移住・定住につなげる。

○高校生の短期留学海外姉妹都市(レクサンド市)ホームステイ研修事業（継続）

事業費： 1,800 千円（ 1,900 千円）

将来を担う青少年の交流を行い、国際交流の担い手を育成するとともに姉妹都市であるレクサンド市との今後の友好と発展につなげていくことを目的として、町内在住高校生及び当別高校生の短期留学ホームステイ研修事業を実施する。

○北海道医療大学連携推進プロジェクト事業（継続）

事業費： 2,977 千円（ 2,600 千円）

北海道医療大学と当別町との包括連携推進のため、医療大学生の町内居住を推進する新生活応援事業などのプロジェクトを共同で行うため、負担金を支出する。

○交流人口増加推進事業（継続）

事業費： 1,500 千円（ 1,500 千円）

町外からの誘客を促し、もって交流人口の増加を図るため、町内各団体及び企業等による実行委員会が主体となった当別町の魅力溢れるイベントを開催するための補助を行う。

○(仮称)JR札沼線代替バス運行事業補助金（新規）

事業費： 70,467 千円（ 0 千円）

札沼線（北海道医療大学駅-新十津川駅間）の廃止に伴い、2020年の春から運行を予定している石狩当別駅-石狩月形駅間を運行するバス事業に対して、関係自治体とともにバス購入等の初期費用の補助を行う。

○地域おこし協力隊活用事業(周遊観光事業)（継続）

事業費： 3,350 千円（ 3,040 千円）

「北欧の風 道の駅とうべつ」の開業に伴い、多くの観光客が当別町を訪れていることから、観光分野での地域おこし協力隊制度の活用とサイクリング等による周遊観光を提供するための拠点を整備し、観光振興と地域の活性化を図る。

○移住支援・プロモーション事業（新規）

事業費： 2,259 千円（ 0 千円）

地方の担い手不足を解消し、東京圏からのUJターンを促進させるため、わくわく地方生活実現政策パッケージ事業を活用し、要件を満たす移住者に対し移住費用の一部を支援する。

また、首都圏などで移住を検討している方を対象とした相談会を行い、移住促進を図る

【 まち再生室 】

○立地適正化計画策定事業（継続）

事業費： 13,500 千円（ 10,000 千円）

人口減少や高齢化社会が到来する中で、誰もが安心、便利に暮らせるまちとして持続的に発展していくため、居住機能や都市機能を立地誘導し、中心市街地の活性化を目指す「立地適正化計画」を策定する。

【 財 政 課 】

○百年会館耐震改修事業（新規）

事業費： 10,000 千円（ 0 千円）

大規模な地震に対応するため、外壁等の耐震補強の改修により耐震性を向上し、施設の地震に対する安全性を確保する。

【 道の駅室 】

○当別町地域間交流拠点施設指定管理事業（継続）

事業費： 42,659 千円（ 40,430 千円）

「北欧の風 道の駅とうべつ」の管理運営について、指定管理者制度を継続する。

○当別町道の駅プロモーション事業（継続）

事業費： 6,000 千円（ 6,000 千円）

「北欧の風 道の駅とうべつ」に多くの来場者が訪れ、早期に道の駅の経営安定化を実現すべく、各種プロモーション事業を行う。

○道の駅附帯施設整備事業（新規）

事業費： 40,680 千円（ 0 千円）

平成30年度に建物寄附をいただいた「北欧の風 道の駅とうべつ スウェーデン館」の外構整備など、道の駅の施設機能を充実させるための整備を行う。

【 住 民 課 】

○特定健康診査・特定保健指導等保健事業（継続）※国民健康保険特別会計

事業費： 49,690 千円（ 49,267 千円）

個別受診勧奨や職域との連携による受診勧奨等の保健事業を実施し、特定健康診査と合わせてがん検診の受診率向上を図る。保健師・管理栄養士等による特定保健指導等保健事業として、一次予防に重点を置いたメタボリックシンドローム該当者への保健指導や、医療機関との連携のもと糖尿病性腎症等疾病の重症化予防のための保健指導を実施する。

○後期高齢者医療事業（継続）

※後期高齢者医療特別会計

事業費： 235,527 千円（ 238,214 千円）

資格管理や給付申請といった各種申請の受付及び保険料の徴収を行ない、運営主体である北海道後期高齢者医療広域連合と共に被保険者の方が安心して医療を受けられる制度を支える。

後期高齢者健康診査について、重症化予防を図るため特定健康診査と同様に腎機能検査等独自の検査項目を追加実施する。

【 環境生活課 】

○町内会街路灯LED化事業（継続）

事業費： 5,786 千円（ 5,970 千円）

地球環境への負荷が少ない省エネルギー効果のある LED 街路灯の設置を促進し、町内会の経費負担の軽減、犯罪のない安心・安全なまちづくりを推進するため、町内会街路灯の LED 化への補助を実施する。

○消費者行政事業（継続）

事業費： 4,721 千円（ 4,588 千円）

全国で増大している特殊詐欺や、消費生活のトラブルに町民が巻き込まれないための対策として、消費生活相談員を配置した消費生活相談窓口を設置するとともに、町内関係機関と設立した消費者被害防止ネットワークを活用し、消費者被害の未然防止を図る。

○町内会運営費補助金（継続）

事業費： 9,838 千円（ 9,046 千円）

町内会活動は防犯、交通安全、高齢者の見守りなどだけでなく、町民を災害から守り、安心安全に暮らすことのできるまちづくりに非常に重要な役割を果たしている。この地域の根幹を支えるコミュニティ活動の推進を図るため、町内会活動に係る経費への補助を実施する。

○合併処理浄化槽設置整備事業（継続）

事業費： 4,375 千円（ 4,580 千円）

下水道整備区域外の生活排水による河川等の公共水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置費用の補助を行ない、生活環境及び公衆衛生の向上を図る。

○みどりヶ丘葬苑火葬炉改修事業（新規）

事業費： 18,590 千円（ 0 千円）

みどりヶ丘葬苑の火葬炉設備は、長期間の使用により経年劣化していることから円滑な火葬場業務を実施するため、火葬炉設備の改修工事を実施する。

【保健福祉課】

○初期救急受入事業（新規）

事業費： 300 千円（ 0 千円）

町民が札幌市内の病院（1 か所）で夜間・深夜時間帯に急病時の診療を受けられる初期救急医療体制を確保する。

○内科系救急医療・在宅当番医運営事業（継続）

事業費： 4,298 千円（ 11,683 千円）

町内4か所の内科系医療機関による12月から3月までの日曜日の救急医療業務と、江別医師会による通年の日曜・祝日の在宅当番医事業により、江別市内の医療機関を含めた広域で急病時の診療を受けられる体制を確保する。

○救急安心センター事業（継続）

事業費： 1,582 千円（ 1,446 千円）

「救急安心センターさっぽろ」に継続加入し、24時間365日看護師による救急医療相談と診療可能な医療機関を案内するとともに、町内及び江別市の救急医療体制の周知啓発を行う。

○中学生におけるピロリ菌検査・除菌事業（新規）

事業費： 531 千円（ 0 千円）

中学校2年生の生徒を対象とし、胃がん等の原因となるヘリコバクター・ピロリ菌検査と陽性者への除菌治療費を助成することにより、胃がんや胃の病気のリスクを減らす。

○風しん抗体検査予防接種事業（新規）

事業費： 3,427 千円（ 0 千円）

風しんの抗体を持たない者の割合の高い39歳から56歳の男性を対象に、風しん抗体検査と必要者への風しん予防接種を無料でを行い、風しんのまん延を防ぐ。

○妊産婦健康診査等交通費助成事業（継続）

事業費： 927 千円（ 927 千円）

妊産婦が健康診査及び出産のために町外産科医療機関を受診する際の交通費の一部を助成し、安心して妊娠・出産できる環境づくりを行う。

○乳幼児等医療費助成事業（継続）

事業費： 11,900 千円（ 12,569 千円）

既存の北海道医療給付事業に基づく医療費助成対象枠の拡充を継続し、通院は課税・非課税の区分を撤廃し小学校就学前までのほぼ全ての世帯が初診時一部負担のみ、入院は高校卒業まで対象学齢を引き上げたうえ全額無料とし、子どもの健康の保持増進と子育て世代の経済的負担の軽減を図る。

○小児期定期予防接種事業（継続）

事業費： 18,931 千円（ 19,316 千円）

麻疹、風しん、小児用肺炎球菌等の予防接種を無料で実施する。予防接種を受けやすい体制をつくり、集団の流行を予防するとともに、個人の罹患及び重症化予防を図る。

○小児期インフルエンザ予防接種事業（継続）

事業費： 1,154 千円（ 1,051 千円）

中学生以下の町民を対象に、インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成することにより、子育て世代の経済的負担の軽減を図るとともに、インフルエンザによる重症化予防を図る。

○がん検診事業（継続）

事業費： 7,439 千円（ 6,976 千円）

胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診の費用の一部を助成するとともに、特定の年齢の方へ子宮がん検診・乳がん検診無料クーポンを発行する。また、胃がんの早期発見のため、胃バリウム検査の他に胃内視鏡検査を新たに実施する。

【 介 護 課 】

○地域包括支援センター事業（継続）

※介護保険特別会計

事業費： 30,117 千円（ 30,117 千円）

高齢・障がい・生活困窮など福祉に関する総合相談窓口として、町民の悩みや不安を広く受け止め、解決に向けて適切な支援機関につなげる役割を充実するとともに、介護予防のケアマネジメントの実施、及び生活支援コーディネーターによる地域の生活支援の体制整備の推進を図り、誰もが住み慣れた地域で生活し続けることができるよう支援を実施する。

○認知症総合支援事業（継続）

※介護保険特別会計

事業費： 2,991 千円（ 2,803 千円）

地域包括支援センターに、認知症の方が必要な医療や介護等のサービスを受けられるよう関係機関との連携支援や相談業務を行う「認知症地域支援推進員」を継続配置し、「認知症サポート医」を含む複数の専門職で構成される「認知症初期支援集中チーム」による個別の訪問支援での包括的・集中的なサポートを行う。また、認知症の方が徘徊等により行方不明となった際の捜索を補助する通信端末の貸与を行い、認知症の方ができる限り住み慣れた環境で暮らし続けることができる地域の構築を推進する。

○地域生活サポーター活動支援事業（継続）

※介護保険特別会計

事業費： 1,805 千円（ 1,805 千円）

公的サービスに該当しない外出や家事支援を必要とする高齢者に対し、有償ボランティア（地域生活サポーター）によるサポートを実施する。活動を行う有償ボランティアに対しては、活動支援ポイントを付与し、貯まったポイントは商工会発行の商品券として還元し活動を支援するとともに、地域生活サポーターを含む有償ボランティアの養成講座を実施する。

○買物支援事業（継続）**※介護保険特別会計****事業費： 1,859 千円（ 1,859 千円）**

買物に困難を抱え閉じこもりがちな高齢者に対し、有償ボランティア（買物御用聞きサポーター）による買物の御用聞きを通じて高齢者の見守り活動、買物支援を行う。活動を行う有償ボランティアに対しては、活動支援ポイントを付与し、貯まったポイントは商工会発行の商品券として還元し活動を支援するとともに、商品の配達を町内の協力商店により行う。

○高齢者クラブ活動事業補助金（継続）**事業費： 1,371 千円（ 1,371 千円）**

町内の高齢者クラブ及び当別町高齢者クラブ連合会が実施する活動事業に対し補助を行い、高齢者の知識及び経験を生かした、生きがいや健康づくりの推進と地域社会への貢献活動を支援する。

○障がい福祉サービス給付事業（継続）**事業費： 504,638 千円（ 502,780 千円）**

障がい児（者）に対し、訪問系サービス（居宅介護（ホームヘルプ）など）、日中活動系サービス（就労支援や生活・療養介護など）、居住系サービス（施設入所支援・共同生活援助（グループホーム）など）により、日常生活及び社会生活を総合的に支援する。

また、障がい児に対しては、通所支援事業（放課後等デイサービスなど）の給付を行い、障がい児の日常生活及び集団生活などを支援する。

○障がい者地域生活支援事業（継続）**事業費： 23,458 千円（ 23,780 千円）**

障がい者相談支援、意思疎通支援（手話通訳者派遣）、日常生活用具給付、移動支援、地域活動支援センター、日中一時支援などの事業を実施し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する。

【 農 務 課 】**○産地パワーアップ事業（新規）****事業費： 141,980 千円（ 0 千円）**

産地パワーアップ事業を活用した南瓜の集出荷貯蔵施設の整備に対し、補助を行う。

○魅力ある直売所づくり支援事業（継続）**事業費： 1,304 千円（ 1,304 千円）**

道の駅農産物直売所を中心とし、町内農産物直売所の魅力度・販売力の向上に向け、研修会の開催と体制整備を支援する。

○農業農村整備事業（継続）

事業費： 59,444 千円（ 123,255 千円）

農業振興地域の保全などを目的とした、農用地の基盤整備（土地改良）事業等における元利償還金。

○多面的機能支払交付金（継続）

事業費： 242,503 千円（ 242,533 千円）

農業用排水路や農道など、農業施設の機能維持活動と当別町景観計画に基づく農村景観の向上活動に取り組む活動組織の事業経費に対する交付金。

事業経費は、町のほかに国や北海道も負担している。

【 エネルギー推進室 】

○西当別小・中学校木質ボイラ導入事業（新規）

事業費： 17,600 千円（ 0 千円）

ボイラ設備の老朽化が著しい西当別小学校及び中学校に木質チップボイラを導入し、学校施設の機能向上を図るとともに、エネルギーの地産地消の推進及び再生可能エネルギーによるCO2削減を図る。

○河川支障木を活用した木質燃料製造実証事業（新規）

事業費： 3,500 千円（ 0 千円）

河川管理などで発生する河川支障木を活用し、公共施設への利用を見据えた木質燃料（チップ）製造における実現可能性の検証及び高効率化に向けた実証を行う。

○公共施設LEDリース事業（新規）

事業費： 1,084 千円（ 0 千円）

イニシャルコストを抑えつつ省エネによるCO2及び電気料金の削減を図るため、リース方式による公共施設照明のLED化を実施する。

○林道橋梁点検事業（新規）

事業費： 3,867 千円（ 0 千円）

町有林道における橋梁（3橋）を適切に維持管理することを目的に、橋梁点検及び今後の維持管理に関する施設計画の策定を行う。

○森林環境保全整備事業（継続）

事業費： 9,723 千円（ 9,447 千円）

未整備森林の適切な管理及び管理に必要な作業道の作設など、新たに開設する林道等を活用して町有林の整備を行い、森林が持つ多面的な機能の維持増進を図る。

【 商 工 課 】

○企業立地促進事業（継続）

事業費： 2,600 千円（ 800 千円）

地域経済に高い波及効果をもたらす企業誘致を実現させるため、関西圏での企業誘致セミナーを開催するなど、JA・商工会とも連携し誘致活動を実施する。

○ドローン活用推進事業（継続）

事業費： 808 千円（ 869 千円）

行政におけるドローン利活用を推進するため操縦可能な職員を養成するとともに、農業用ドローンの操作に必要な資格取得費の一部を助成し、農業分野でのドローン利活用推進を図る。

【 建 設 課 】

○除排雪事業（継続）

事業費： 345,000 千円（ 318,000 千円）

冬期間において、快適な町民生活及び産業・経済活動を確保するため、除排雪業務を行う。
また、雪対策町民協議会排雪支援制度の廃止に伴い発足した当別町除排雪連絡協議会と調整を図りながら、町民負担軽減及び効率、効果的な排雪作業を図る。

○除雪機械(ロータリ除雪車)購入事業（新規）

事業費： 52,000 千円（ 0 千円）

町有車両の老朽化等により、除雪体制の維持が困難な状況が生じていることから、適切な保有台数を確保し委託業者に貸与することで、除排雪車両体制の強化を図る。

○町道中央十九線防雪柵設置事業（継続）

事業費： 40,000 千円（ 47,000 千円）

冬期間の吹雪による視界不良や吹き溜まりによる車両の立ち往生が多発していることから、防雪柵の設置により安全な通行を確保する。

○町道高岡中央線歩道新設事業（継続）

事業費： 27,000 千円（ 23,000 千円）

当該路線は歩道がなく、カーブや傾斜のため見通しが悪く危険な状況であることから歩道を整備し、安全な通行を確保する。

○町道川下右岸線道路改良事業（継続）

事業費：30,000千円（30,000千円）

当該路線は道の駅オープンに伴い交通量が増加しており、道路路面及び路肩等の改良工事を行い安全な通行を確保する。

○町道中小屋線道路改良事業（新規）

事業費：20,000千円（0千円）

当該路線は一部区間が砂利道路で傾斜があるため、大雨時にわだち掘れが発生し通行止めを行っている状況であることから、道路改良工事を行い安全な通行を確保する。

○町道北八号線道路改良事業（新規）

事業費：35,000千円（0千円）

当該路線は JR 札沼線北海道医療大学以北の廃線に伴う代替交通バス運行予定の路線であり、現状は道路幅員が狭く車両の交差ができない状態であることから、道路改良工事を実施し安全な通行を確保する。

○ライラック公園遊具更新事業(公園施設長寿命化事業)（新規）

事業費：30,000千円（0千円）

公園施設の老朽化が著しいことから公園施設長寿命化計画に基づきライラック公園遊具更新設計及び工事を行い、公園施設の充実を図る。

○パンケチュウベシナイ川河川改修事業（新規）

事業費：20,000千円（0千円）

当該河川の上流部において未改修であるため、大雨時に車庫や耕作地が浸水する被害が発生している状況であることから、河川改修を実施するための調査設計を行い安全性の確保を図る。

○東町団地改修事業(公営住宅長寿命化事業)（継続）

事業費：20,083千円（39,650千円）

当別町町営住宅長寿命化計画に基づき東町団地改修工事を行い、町営住宅の運営の健全化を図る。

【 教育委員会 学校教育課 】

○小中一貫教育推進事業（継続）

事業費： 9,623 千円（ 9,623 千円）

児童生徒の学びの連続性を確保するため、「一貫教育推進講師（非常勤）」（英語 2 名、算数（数学）2 名）を各中学校区に配置し、小学校及び中学校での教科指導を実践し、学力の向上を図る。

また、小学校高学年の中学校登校や中学校教員の小学校への乗り入れ授業等、児童生徒・教職員の交流を促進し、「小中一貫教育でめざす人間像」である「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人材」の育成を図るとともに、一体型義務教育学校の開校に向け、学校運営やカリキュラム編成等について検討を進める。

○特別支援教育支援員配置事業（継続）

事業費： 16,248 千円（ 16,180 千円）

小・中学校の通常学級に在籍する児童生徒のうち、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個別の声掛けや学習支援を行うため、すべての小・中学校に「特別支援教育支援員」を 2 名ずつ配置し、個々の基礎学力の定着を図り、学習環境の充実を図る。

○コミュニティ・スクール運営事業（継続）

事業費： 644 千円（ 707 千円）

小中一貫教育を地域全体で進めるため、学校・保護者・地域住民等で構成する「学校運営協議会」（コミュニティ・スクール）による「地域とともにある学校」づくりを推進する。

○小中学校芸術鑑賞事業（継続）

事業費： 500 千円（ 500 千円）

児童生徒の豊かな感性と創造性・思考力・コミュニケーション能力等の育成を図るため、小中学校が合同で芸術鑑賞を行う。

○各小中学校英会話指導助手配置事業（継続）

事業費： 7,972 千円（ 8,343 千円）

英語教育の充実のため、小学校と中学校の全学年に外国人講師による英会話指導助手を派遣する。また、平成 32 年度から新たな学習指導要領が実施されることに伴い、小学校 5・6 年生の外国語教育が教科化されることを見据え、町の独自施策として、授業時数及び内容を先行実施する。これに合わせて、外国人講師 3 人による英会話指導助手を、小学校 1・2 年生に年間 10 時間、小学校 3・4 年生に年間 35 時間、小学校 5・6 年生に年間 70 時間、中学生には年間 9 時間派遣する。

○西当別小学校屋内体育館改修事業（継続）

事業費： 35,090 千円（ 25,400 千円）

老朽化している学校施設の教育環境改善のため、西当別小学校屋内体育館を改修する。

○学校給食センター改修事業（継続）

事業費： 21,816 千円（ 32,379 千円）

機械設備及び厨房設備を計画的に改修することにより、町内小中学校の児童生徒へ安定した給食を提供する。

【 教育委員会 社会教育課 】

○学校を核とした地域力強化プラン事業（継続）

事業費： 3,311 千円（ 3,291 千円）

学校支援地域本部事業（学校への支援）や児童・生徒の自立した学習のための支援事業（放課後学習会や土曜学習会）、英語体験事業（小学生が英語に慣れ親しむ活動）を地域住民の協力により実施する。事業費は、国・道・町がそれぞれ1／3を負担する。

○社会体育施設等指定管理事業（継続）

事業費： 43,803 千円（ 42,074 千円）

社会体育施設等（当別町総合体育館、白樺コミュニティーセンター、当別小学校水泳プール）の指定管理を継続し、民間の活力により住民サービスの向上を図る。

【 教育委員会 子ども未来課 】

○子育て支援センター運営事業（継続）

事業費： 3,443 千円（ 2,940 千円）

乳児から就学前の子どもと保護者を対象に、子育て世代の交流、子育て関連情報の提供、子育て相談、多世代との交流等を推進することで、子育て家庭に寄り添いながら子育ての不安感の緩和や子どもの健やかな育ちを支援する。

○放課後児童対策事業(子どもプレイハウス)（継続）

事業費： 17,913 千円（ 18,137 千円）

就労等の理由により家庭に保護者のいない小学生に対し、放課後、長期休業日等における保育サービスの提供及び学習・運動支援の実施により、児童の健全育成及び学力・体力向上を図る。

○教育・保育施設等給付事業（継続）

事業費：279,975千円（134,997千円）

子ども・子育て支援法に基づく教育・保育給付として、教育・保育施設等の利用者に対し費用の一部を負担することにより利用の促進へと繋がり、幼児教育の推進及び教育・保育サービスの充実を図る。また、新たにふとみ保育所を公私連携型認定こども園へ移行することにより西当別地区に幼稚園機能を有する施設を開設する。

○教育・保育施設利用者負担額無償化事業（継続）

事業費：23,804千円（4,698千円）

国において実施予定が検討されている2019年10月からスタートする3歳児から5歳児の幼児教育無償化に伴い、町としても国の動きと併せ取り組むとともに、平成29年度から実施している保育施設を利用する3歳未満の第2子に係る保育料無償化事業を継続し、子育て世帯の経済的負担の軽減及び子どもを産み育てやすい環境の充実を図る。

○子ども発達支援センター運営事業（継続）

事業費：19,553千円（19,941千円）

心身の発達に特性を持つ児童に対し、利用者の多様なニーズ、生活環境及び対象児童の特質に配慮した療育の提示、指導等の療育支援を行うほか、関係機関等とも連携し効果的な支援体制の構築に努め、早期療育の推進と強化を図る。

【 当別消防署（負担金） 】

○小型動力ポンプ付積載車購入事業（新規）

事業費：20,000千円（0千円）

当別消防団第6分団（弁華別）の消防ポンプ車及び第8分団（対雁）の小型動力ポンプ付積載車の更新を図り、各種災害等における住民需要に対し安全に対応することができる体制を維持する。

◆-----
☆平成 30 年度当初予算計上 終了・廃止等の主な事業

● 木質バイオマス熱利用事業化計画策定事業	10,000 千円
● 町有林道開設事業	42,000 千円
● ICTを活用した教育環境向上事業	1,720 千円
● ひとみ保育所業務民間委託事業	102,759 千円
● 当別消防庁舎施設改修事業	23,642 千円
● 消火栓新設事業	1,507 千円

◆-----
☆平成 30 年度予算 繰越事業

● 経営体育成支援事業	49,115 千円
● 分収造林地整備事業	9,621 千円
● 当別町一体型義務教育学校基本設計事業	38,000 千円
● 当別町一体型義務教育学校地質調査事業	16,013 千円
● 当別町一体柄義務教育学校測量事業	6,340 千円